

2020年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツ健康 学科
TR・IN・CO・SB コース

授業科目 (科目ID)	スイミングスキル 20s226		担当教員 (実務経験)	今井 由美子 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	
対象年次・学期	2年・通年		必修・選択区分	選択	単位数 2単位
授業形態	実習		授業回数(1回90分)	30	時間数 60時間
授業目的	各種泳法の基本技術を向上させ、指導員として模範となる泳ぎを習得する。効率よく泳ぐ方法を習得し、各種泳法のスピードアップを目指すし、潜行・日本泳法等の新しい技術や安全水泳の技術を習得する。水泳指導員の取得を目指す。				
到達目標	泳法を改善することで、より速い個人メドレーを泳ぐ事が出来る。				
テキスト・ 参考図書等	水泳指導教本・プリント				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	80%	基本は実技試験(個人メドレー100m)のタイム その他は受講姿勢等で評価する		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	20%			
履修上の 留意事項	プールでの実技中心。必要な時はプリント配布。各種泳法等の技術習得は、様々な指導をする上での自信になりますし、幅広く活用できます。最終目標は個人によって様々ですが、それぞれの目標に向かって頑張りましょう。体調を万全にして授業に臨んでください。水泳指導員を受験する学生は、必ず履修してください。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	オリエンテーション	泳法確認		
	2	能力確認	タイム計測・基本技術確認・安全水泳		
	3	各種泳法スキルアップ	Fr/持久カトレーニング/スカリング		
	4	各種泳法スキルアップ	Fr/持久カトレーニング/スカリング		
	5	各種泳法スキルアップ	Ba/持久カトレーニング/スカリング		
	6	各種泳法スキルアップ	Ba/持久カトレーニング/スカリング		
	7	各種泳法スキルアップ	Br/持久カトレーニング/スカリング		
	8	各種泳法スキルアップ	Br/持久カトレーニング/スカリング		
	9	各種泳法スキルアップ	Fly/スピードトレーニング/潜行/横泳ぎ		
	10	各種泳法スキルアップ	Fly/スピードトレーニング/潜行/横泳ぎ		
	11	指導実習	指導法実習		
	12	指導実習	指導法実習		
	13	各種泳法スキルアップ	IMターン/スピードトレーニング/潜行/横泳ぎ		
	14	各種泳法スキルアップ	IMターン/スピードトレーニング/潜行/横泳ぎ		
15	前期末試験	個人メドレータイム測定			

16	各種泳法・トレーニング	個人メドレー、スピード持久カトレーニング、横泳ぎ、潜行、飛び込み
17	各種泳法・トレーニング	個人メドレー、スピード持久カトレーニング、横泳ぎ、潜行、飛び込み
18	各種泳法・トレーニング	個人メドレー、スピード持久カトレーニング、横泳ぎ、潜行、飛び込み
19	各種泳法・トレーニング	個人メドレー、スピード持久カトレーニング、横泳ぎ、潜行、飛び込み
20	指導実習	個人指導
21	指導実習	集団指導
22	指導実習	集団指導
23	各種泳法・トレーニング	個人メドレー、スピード持久カトレーニング、横泳ぎ、飛び込み
24	各種泳法・トレーニング	個人メドレー、スピード持久カトレーニング、横泳ぎ、飛び込み
25	各種泳法・トレーニング	個人メドレー、スピード持久カトレーニング、横泳ぎ、飛び込み
26	各種泳法・トレーニング	個人メドレー、スピードトレーニング、潜行、横泳ぎ
27	各種泳法・トレーニング	個人メドレー、スピードトレーニング、潜行、横泳ぎ
28	各種泳法・トレーニング	個人メドレー、スピードトレーニング、潜行、横泳ぎ
29	各種泳法・トレーニング	個人メドレー、スピードトレーニング、潜行、横泳ぎ
30	後期末試験	個人メドレータイム測定

2020年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー/スポーツ健康 学科
AT・MT/TR・IN・CO・SB コース

授業科目 (科目ID)	各種トレーニング法の実践 20t222/20s227	担当教員 (実務経験)	大菅 貴広 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> トレーニング指導者		
対象年次・学期	2年・通年	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	実習	授業回数(1回90分)	30	時間数	60時間
授業目的	レジスタンストレーニングをはじめとする、各種トレーニングにおけるエクササイズテクニックのガイドラインを理解し、トレーナー、インストラクターとして安全で効果的な実践方法を習得するとともに、対象者に対する指導テクニックを身につける。				
到達目標	多様なニーズに対応し、様々なトレーニング方法を理解し、説明できるようになる。 対象者に対して安全で効果的なトレーニング指導ができること。				
テキスト・参考図書等					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	60%	試験、その他(受講姿勢、受講態度等)を総合的に評価する。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
その他	40%				
履修上の留意事項	マシンジムでの実技授業として展開します。マシン・フリーウエイト、カーディオ、多目的スペースを有効に活用します。マシンジムはお客様との共有施設です。広い視野を持ち、気遣いを心がけて下さい。この授業では「安全で効果的な」エクササイズテクニックの習得を第一の目標とします。ただ漠然とトレーニングを行うのではなく、動作や筋の作用を意識し、考えながら実践することが求められます。また、指導者としてのスキルも身につけます。辛いトレーニングを自ら実践し、自身のスキルアップを図りましょう。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	ガイダンス、自重エクササイズ	授業の目的・到達目標、自重エクササイズの実施		
	2	エクササイズの復習	1年次に行ったエクササイズの復習(自重エクササイズ)		
	3	エクササイズの復習	1年次に行ったエクササイズの復習(マシンエクササイズ)		
	4	ベーシックトレーニングの再考	ベンチプレス		
	5	ベーシックトレーニングの再考	デッドリフト		
	6	ベーシックトレーニングの再考	バックスクワット		
	7	筋力測定方法と実践①	ベンチプレス・バックスクワット・デッドリフトの1RM及び、RM測定		
	8	筋力測定方法と実践①	ベンチプレス・バックスクワット・デッドリフトの1RM及び、RM測定		
	9	HIT①	ハインテンシティトレーニング①		
	10	HIT②	ハインテンシティトレーニング②		
	11	フィジカルトレーニング	SAQTトレーニングとは？定義、効果、種類		
	12	フィジカルトレーニング	スピード・アジリティ・クイックネスの基本動作・方向転換		
	13	フィジカルトレーニング	総合的SAQTトレーニングの実践(スキルの獲得とその獲得過程)		
	14	実技試験について	試験内容・形式について、試験対策		
	15	前期実技試験	指導・デモンストレーション実技試験		
	16	各種トレーニング方法の実技と指導	筋持久カトレーニング		
	17	各種トレーニング方法の実技と指導	様々な体幹トレーニング		
	18	各種トレーニング方法の実技と指導	エクササイズ配列を考慮したトレーニング		
	19	各種トレーニング方法の実技と指導	ファンクショナルトレーニング①		
	20	各種トレーニング方法の実技と指導	ファンクショナルトレーニング②		
	21	筋カトレーニングの代表的エクササイズの実技と指導	胸部のエクササイズ		
	22	筋カトレーニングの代表的エクササイズの実技と指導	背部のエクササイズ		
	23	筋カトレーニングの代表的エクササイズの実技と指導	肩・上腕部のエクササイズ		
	24	筋カトレーニングの代表的エクササイズの実技と指導	大腿部・殿部のエクササイズ①		
	25	筋カトレーニングの代表的エクササイズの実技と指導	大腿部・殿部のエクササイズ②		
	26	筋力測定方法と実践②	ベンチプレス・バックスクワット・デッドリフトの1RM及び、RM測定		
	27	筋力測定方法と実践②	ベンチプレス・バックスクワット・デッドリフトの1RM及び、RM測定		
	28	実技試験について	試験内容・形式について、試験対策		
	29	後期実技試験	指導・デモンストレーション実技試験		
30	担当教員スペシャルトレーニング	担当教員によるトレーニング			

2020年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー/スポーツ健康 学科
AT・MT・PH/TR・IN・CO・SB コース

授業科目 (科目ID)	健康運動実践指導者対策実技 20t223/20s228	担当教員 (実務経験)	今井 由美子・高田 涼介 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>		
対象年次・学期	2年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	実技	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	健康運動実践指導者検定合格に向けて、陸上運動は、レジスタンストレーニング及びエアロビックダンス指導の基礎から学び、水中運動は、水中レジスタンストレーニング及び水中ウォーキングの基礎から学び、指導実践ができるようになる。				
到達目標	健康運動実践指導者実技試験を合格するレベルで指導できる。				
テキスト・参考図書等	プリント、DVD				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	40%	試験は、模擬試験での評価とする その他は積極的な受講姿勢等で評価する		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	10%			
	その他	50%			
履修上の留意事項	スタジオ・プールでの指導実践が中心となる。健康運動実践指導者に必要な指導能力を理解し、指導者としての資質向上を目指し取り組んでいきましょう。皆さん自身の指導実演能力が問われる資格です。この授業で100%合格できる自信をつけられるよう学んでください。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	(共通)ガイダンス	(共通)授業の進め方について説明・検定内容の説明、ステップの確認		
	2	(陸上)ガイダンス (水中)水中ウォーキング・レジスタンス運動	(陸上)カウント取り、各ステップの分解方法の説明・キュー出し (水中)DVD視聴および内容の把握・暗記、陸上での実演		
	3	(陸上)指導練習 (水中)水中レジスタンス運動①	(陸上)グレープバイン・Vステップ・前後4(個人練習) (水中)プールでの実演練習		
	4	(陸上)指導練習 (水中)水中レジスタンス運動②	(陸上)グレープバイン・Vステップ・前後4(ペア練習)、レッグカール・ヒールタッチ・Aステップ(個人練習) (水中)プールでの実演練習		
	5	(陸上)指導練習 (水中)水中レジスタンス運動③	(陸上)レジスタンストレーニング5種目 指導及び留意点 (水中)プールでの実演練習		
	6	(陸上)指導練習 (水中)水中ウォーキング①	(陸上)レジスタンストレーニング5種目 指導及び留意点 (水中)プールでの実演練習		
	7	(陸上)ルーティンの指導練習 (水中)水中ウォーキング②	(陸上)前4後4+Vステップ+グレープバイン+レッグカール(個人練習・ペア練習) (水中)プールでの実演練習		
	8	(陸上)プログラム作成 (水中)水中ウォーキング③	(陸上)各自作成→チェック (水中)プールでの実演練習		
	9	(共通)指導練習	(陸上)各自のプログラムの指導練習 (水中)水中ウォーキング・レジスタンス運動の通し練習		
	10	(共通)指導練習	(陸上)各自のプログラムの指導練習 特性の説明作成 (水中)水中ウォーキング・レジスタンス運動の通し練習		
	11	(共通)指導練習	(陸上)各自のプログラムの指導練習 まとめ作成 (水中)水中ウォーキング・レジスタンス運動の通し練習		
	12	(共通)指導練習	(陸上)各自のプログラムの指導練習 練習→暗記 (水中)水中ウォーキング・レジスタンス運動の通し練習		
	13	(共通)模擬試験	(共通)検定試験と同様の形で実技試験の実施		
	14	(共通)模擬試験	(共通)検定試験と同様の形で実技試験の実施		
15	(共通)模擬試験	(共通)検定合格基準に満たない学生対象の再試験実施			

2020年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー/スポーツ健康 学科
AT・MT・PHⅢ/TR・IN・CO・SBⅡ コース

授業科目 (科目ID)	エアロビック指導員対策実技 20t327/20s229		担当教員 (実務経験)	大嶋 春香 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> スタジオインストラクター		
対象年次・学期	3年/2年・集中		必修・選択区分	選択	単位数	1単位
授業形態	実習		授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	エアロビック指導員取得に向け、実技試験と指導実習試験を合格できるレベルになる。					
到達目標	実技試験と指導実習試験を合格できるレベルになる。					
テキスト・ 参考図書等	必要に応じて資料等配布する。					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	%	小テストは実技試験、指導実習試験を実際に行い、 その他(受講姿勢、受講態度等)を総合的に評価する。			
	レポート	%				
	小テスト	80%				
	提出物	%				
	その他	20%				
履修上の 留意事項	基礎をしっかり覚え、身に付け指導できるようにする。まずは自身が楽しんで学ぶこと					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	実技試験対策①	エアロビック技能検定4級ベーシックルーティンA～Dパート			
	2	実技試験対策②	エアロビック技能検定4級ベーシックルーティンA～Dパート			
	3	実技試験対策③	エアロビック技能検定4級ベーシックルーティンA～Dパート			
	4	実技試験対策④	エアロビック技能検定4級ベーシックルーティンA～Dパート			
	5	実技試験対策⑤	エアロビック技能検定4級ベーシックルーティンA～Dパート			
	6	実技模擬試験①	実技試験			
	7	実技模擬試験②	実技試験			
	8	指導実習試験対策①	エアロビック技能検定5級Dパート			
	9	指導実習試験対策②	エアロビック技能検定5級Dパート			
	10	指導実習試験対策③	指導実習			
	11	指導実習試験対策④	指導実習			
	12	指導実習試験対策⑤	指導実習			
	13	指導実習模擬試験①	指導実習試験			
	14	指導実習模擬試験②	指導実習試験			
15	指導実習模擬試験③	指導実習試験				

2020年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー/スポーツ健康 学科
AT・MT・PHⅢ/TR・IN・CO・SBⅡ コース

授業科目 (科目ID)	水泳指導員対策実技 20t326/20s230		担当教員 (実務経験)	今井 由美子 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>		
対象年次・学期	3年/2年・集中	必修・選択区分	選択	単位数	1単位	
授業形態	実習	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間	
授業目的	各種泳法の基本技術を向上させ、指導員として模範となる泳ぎを習得する。効率よく泳ぐ方法を習得し、各種泳法のタイムアップを目指すし、潜行・日本泳法等の新しい技術や安全水泳の技術を習得する。水泳指導員の取得を目指す。					
到達目標	泳法を改善することで、より速い個人メドレーを泳ぐ事が出来る。					
テキスト・ 参考図書等	水泳指導教本・プリント					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	%	小テスト、その他(受講姿勢、受講態度等)を総合的に評価する。			
	レポート	%				
	小テスト	80%				
	提出物	%				
	その他	20%				
履修上の 留意事項	各種泳法等の技術習得は、様々な指導をする上での自信になりますし、幅広く活用できます。最終目標は個人メドレーのタイムを切る事です。体調を万全にして授業に臨んでください。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	能力確認①	個人メドレータイム計測・基本技術確認・横泳ぎ			
	2	能力確認②	タイム計測・基本技術確認・横泳ぎ			
	3	各種泳法スキルアップ①	Fr/スピードトレーニング/潜行/横泳ぎ			
	4	各種泳法スキルアップ②	Ba/スピードトレーニング/潜行/横泳ぎ			
	5	各種泳法スキルアップ③	Br/スピードトレーニング/潜行/横泳ぎ			
	6	各種泳法スキルアップ④	Fly/スピードトレーニング/潜行/横泳ぎ			
	7	各種泳法スキルアップ⑤	IMターン/スピードトレーニング/潜行/横泳ぎ			
	8	各種泳法スキルアップ⑥	IMターン/スピードトレーニング/潜行/横泳ぎ			
	9	各種泳法スキルアップ⑦	個人メドレー、スピードトレーニング、潜行、横泳ぎ、飛び込み			
	10	各種泳法スキルアップ⑧	個人メドレー、スピードトレーニング、潜行、横泳ぎ、飛び込み			
	11	各種泳法スキルアップ⑨	個人メドレー、スピードトレーニング、潜行、横泳ぎ、飛び込み			
	12	各種泳法スキルアップ⑩	個人メドレー、スピードトレーニング、潜行、横泳ぎ、飛び込み			
	13	タイム測定	個人メドレータイム測定			
	14	泳法確認	個人メドレー、潜行、横泳ぎ、飛び込み			
15	泳法確認	個人メドレー、潜行、横泳ぎ、飛び込み				

2020年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー/スポーツ健康 学科
AT・MT・PH/TR・IN・CO・SB コース

授業科目 (科目ID)	スノーボード・スキー宿泊実習Ⅱ 20t226/20s231	担当教員 (実務経験)	田口 清輝 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> トレーニング指導者		
対象年次・学期	2年・集中	必修・選択区分	選択	単位数	2単位
授業形態	実習	授業回数(1回180分)	15	時間数	60時間
授業目的	スキー・スノーボードにおける、基礎技術・知識の習得と向上を目指す。 スキー・スノーボード検定受験により、資格取得を目指す。				
到達目標	冬山における、怪我の予防、ゲレンデマナー及びリスクマネジメントを理解し、指導者としての資質を身に付ける。				
テキスト・ 参考図書等	必要に応じて資料等配布する。				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	レポート・提出物等の状況を総合的に評価する その他は受講姿勢等で評価する		
	レポート	10%			
	小テスト	%			
	提出物	10%			
	その他	80%			
履修上の 留意事項	宿泊研修という決まりの中で、自己管理、時間管理を徹底して行う事。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	事前説明会	目的、注意事項伝達		
	2	1日目午後レッスン開始	各班に分かれ道具の特性・理論等を学ぶ		
	3	1日目ミーティング	1日目学んだことを各班で話し合い、日誌に記入する		
	4	1日目ナイター練習	1日目に学んだことを復習する。		
	5	2日目午前レッスン開始	1日目より難易度の高い事を学ぶ		
	6	2日目午後レッスン開始	1日目より難易度の高い事を学ぶ		
	7	2日目ミーティング	2日目学んだことを各班で話し合い、日誌に記入する		
	8	2日目ナイター練習	2日目に学んだことを復習する。		
	9	3日目午前レッスン開始	2日目より難易度の高い事を学ぶ		
	10	3日目午後レッスン開始	2日目より難易度の高い事を学ぶ		
	11	3日目ミーティング	3日目学んだことを各班で話し合い、日誌に記入する		
	12	3日目ナイター練習	3日目に学んだことを復習する。		
	13	4日目午前レッスン開始	各班に分かれ、検定へ向けてレッスンをする		
	14	4日目検定	今まで学んだことを踏まえて検定に臨む		
15	4日目ミーティング	4日目学んだことを各班で話し合い、日誌に記入する			

2020年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナ/スポーツ健康 学科
AT・MT・PHⅢ/TR・IN・CO・SBⅡ コース

授業科目 (科目ID)	就職実務 20t333/20s233	担当教員 (実務経験)	濱田 光 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>		
対象年次・学期	3年/2年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	1. 就職決定に向け自分自身を振り返り、客観的視野で自己分析を行う。 2. 就職活動の流れを理解し、円滑な活動へと繋げる。				
到達目標	社会人としての考え方や対応手法を学び、それらを説明・表現することができる。				
テキスト・ 参考図書等	就職サポートテキスト				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	レポートおよび提出課題、その他(受講姿勢、受講態度等)を総合的に評価する。		
	レポート	30%			
	小テスト	%			
	提出物	30%			
	その他	40%			
履修上の 留意事項	就職実務のテキスト及びプリント等を配布し授業を行う。、ここ数年の新卒就職戦線は売り手市場の傾向にありますが、その反面、雇用形態などの多様化も進み、仕事選びも難しくなっています。まずは自分自身を知り、社会傾向を知って悔いのない就職活動をする為に、客観的に自己評価を行うよう取り組んでください。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	ガイダンス	就活スケジュール・就活マナー・心構えなど、就活に向けた基本的な流れを学ぶ		
	2	就活対策(1)	エントリーシート(求職票)の書き方		
	3	就活対策(2)	履歴書の書き方①(練習用紙への記入)		
	4	就活対策(3)	履歴書の書き方②(本用紙への下書き)、線引き→下書き→チェック→本書き 完成品1枚回収		
	5	自己を知る	学生と社会人の違いを把握 自己分析・自己PRの作		
	6	就活対策(1)	求人票のチェック方法および志望動機の作成		
	7	就活対策(2)	PC室にてリクナビ、マイナビの説明、登録作業		
	8	就活対策(3)	企業へのアポイントの取り方、各提出書類の準備方法		
	9	選考試験対策(1)	選考試験の種類と対策		
	10	選考試験対策(2)	面接試験対策(基本動作・身だしなみ・事前準備)		
	11	選考試験対策(3)	面接試験対策(成功例と失敗例、質問内容)		
	12	選考試験対策(4)	面接試験対策(グループディスカッション、集団面接)		
	13	就職に向けて(1)	受験報告書の作成、提出		
	14	就職に向けて(2)	内定状の作成		
15	就職に向けて(3)	就職への心構え			

2020年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー/スポーツ健康 学科
AT・MT・PHⅢ/TR・IN・CO・SBⅡ コース

授業科目 (科目ID)	情報基礎 20t332/20s234		担当教員 (実務経験)	石井 克 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 新聞記者(フリーライター)	
対象年次・学期	3年/2年・通年		必修・選択区分	必修	単位数 2単位
授業形態	実習	授業回数(1回90分)	30	時間数	60時間
授業目的	ビジネスの場面に必要な、PC操作と情報の扱い方を学習する。				
到達目標	資料作成およびデータの整理と活用に合わせて、Word・Excelの基本操作方法を理解し、場面に応じて使用できる。				
テキスト・ 参考図書等	【テキスト】 実教出版企画開発部編(2016)『30時間でマスター Windows10対応 Word & Excel 2016』, 実教出版				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	50%	試験、その他(受講姿勢、受講態度等)を総合的に評価する。		
	レポート	0%			
	小テスト	0%			
	提出物	30%			
	その他	20%			
履修上の 留意事項	学生の理解度に応じて、授業の進捗速度と度合いを変更する場合がある。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	オリエンテーションと導入	講義の進め方・試験方法・評価等の説明とガイダンス		
	2	Windows10の基礎	Windowsの基本操作		
	3	Wordの基本操作①	文字入力・印刷・保存		
	4	Wordの基本操作②	基本操作とタイピング練習①(400字)		
	5	Wordの基本操作③	基本操作とタイピング練習②(600字)		
	6	Wordの基本操作④	基本操作とタイピング練習③(800字)		
	7	Wordの活用①	表・グラフの作成		
	8	Wordの活用②	ビジネス文章の作成①(編集機能Ⅰ)		
	9	Wordの活用③	ビジネス文章の作成②(編集機能Ⅱ)		
	10	Wordの活用④	ビジネス文章の作成③(ビジュアル)		
	11	Excelの基本操作①	データ入力の基礎		
	12	Excelの基本操作②	ワークシート編集の基礎		
	13	Excelの基本操作③	ワークシートの書式設定		
	14	Excelの基本操作④	グラフ・表の作成		
15	前期のまとめ	Word・Excelの使用に関する前期のまとめ			

16	Excelの実践①	関数の適用①(オートSUMボタンの利用)
17	Excelの実践②	関数の適用②(順位付け、四捨五入、判定)
18	Excelの実践③	関数の適用③(条件による集計、表の検索)
19	Excelの実践④	データベース機能
20	Excelの実践⑤	データの集計
21	Excelの活用①	実習問題①
22	Excelの活用②	実習問題②
23	Excelの活用③	実習問題③
24	Word・Excelの応用①	PowerPointとの関連性
25	Word・Excelの応用②	インターネットの活用と情報倫理
26	Word・Excelの応用③	インターネットを利用した情報の活用
27	Word・Excelの応用④	スクリーンショット・PDFファイルの作成
28	Word・Excelの応用⑤	Word・Excelを使用したデータの整理と活用①
29	Word・Excelの応用⑥	Word・Excelを使用したデータの整理と活用②
30	後期のまとめ	Word・Excelに関する後期のまとめ

2020年度

北海道スポーツ専門学校

スポーツトレーナー/スポーツ健康 学科
AT・MT・PH/TR・IN・CO・SB コース

授業科目 (科目ID)	外国語 20t235/20s235	担当教員 (実務経験)	未定 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象年次・学期	2年・通年	必修・選択区分	必修(SB)・選択	単位数	4単位
授業形態	講義・実技	授業回数(1回90分)	30	時間数	60時間
授業目的	外国語を通じて、コミュニケーション能力を養う。				
到達目標	外国語で自分の意見や考えを述べる事が出来る。				
テキスト・参考図書等					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	50%	試験、その他(受講姿勢、受講態度等)を総合的に評価する。		
	レポート	9%			
	小テスト	9%			
	提出物	9%			
	その他	50%			
履修上の 留意事項	テキスト、プリントを使用し話すことを主とした授業。楽しみながら触れていきたいと思います。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	基本会話	挨拶、自己紹介		
	2	基本会話	人を紹介する		
	3	基本会話	自分のしたいことQ&A		
	4	基本会話	自分の好きなことQ&A		
	5	基本会話	自分のできることQ&A		
	6	日常会話フレーズ	話かける、お祝いを言う		
	7	日常会話フレーズ	励ます、なぐさめる		
	8	日常会話フレーズ	意見を言う、苦情を言う		
	9	日常会話フレーズ	曖昧に答える、困ったとき		
	10	日常会話フレーズ	嬉しい、楽しい、腹立たい		
	11	日常会話フレーズ	感動する、おどろく		
	12	日常会話フレーズ	お店に入る、注文する		
	13	確認	前期内容の確認		
	14	確認	前期内容の確認		
	15	前期試験	試験実施		
	16	場面別会話	レストラン		
	17	場面別会話	ショッピング		
	18	場面別会話	道案内		
	19	出生地について説明	日本について話す		
	20	出生地について説明	日本について話す		
	21	出生地について説明	日本について話す		
	22	出生地について説明	日本について話す		
	23	海外旅行	旅行で使えるフレーズ		
	24	海外旅行	旅行で使えるフレーズ		
	25	海外旅行	旅行で使えるフレーズ		
	26	海外旅行	旅行で使えるフレーズ		
	27	将来について	自分の将来を話す		
	28	確認	後期内容の確認		
	29	確認	後期内容の確認		
30	後期試験	試験実施			